

町内探検隊

今回探検隊は安城梨発祥の地、横山町に行ってきました。

まず目に入ったのは「ハートポリス」のステッカーがはられたパトカーのような車でした。どんな車だろうと、町内会の人に聞いてみると、「防犯ボランティアが町内パトロールをする時に乗る青パトという車だよ」と教えてくれました。

「自分たちの町は自分たちで守る」このような意識は、安全・安心なまちづくりだけでなく、地域



防犯パトロール中の青パト

の連帯感も強めます。町にはシンボルマークもあり、団結力をさらに強めています。このようにシンボルマークがある町は珍しいようで、最近ではホームページも充実させているとのことでした。

そのような中「高松宮様に関する石碑がある」という情報を得ました。聞いてみると、昭和4年に多角経営農業の好例として視察を受けた梨園が、その記念に建てた物だそうです。

石碑を探すべく町南部を歩くのですが、なかなか見つかりません。庭先に見つけた梨の木が、昔この



Yokoyama

公募で決まった横山町のシンボルマーク

今月の舞台 横山町

今月の探検隊員
颯田香代子さん



辺りに梨園があったんだよと私たちに教えてくれるのですが…。近所の人に聞いても分からずにあきらめかけた時、それらしき物が。後ろに回ってみると「高松宮殿下行啓記念」と刻まれていました。「あった！」

石碑の前に立って見ると、少し見上げるくらいの高さでしょうか。

力強く建っている様は「日本デンマーク」を誇りとして生きた人の雄姿と重なりました。町内の人にもほとんど知られていません。皆さんも探してみたいかがでしょうか？



高松宮殿下行啓記念の石碑

わたしの望遠郷



高知県土佐市



私のふるさととは、高知県の土佐市です。ふるさとの自慢は、市の南にある土佐湾、その先に広がる太平洋です。

穏やかな時には水平線に浮かぶ



漁船を見ることができるのですが、台風の時には荒れ、人を寄せつけない二つの顔を持つ、父でもあり母でもある雄大な海です。

私の育った町は、自分も含めて同級生の父親のほとんどが漁船に乗っている、漁業の町です。中学校の授業に、全国でも数校

しかないという「水産」の授業がありました。この教科ではロープの結び方や魚の名前、その魚が釣れる水深などを教わりました。授業の一環として釣りに行ったり、文化祭では鰹のたたきを作ったりするなど、全国でも珍しい中学校だと思



萩岬：海水浴場ではなく、あまり人が訪れる場所ではないのですが、その分とてもきれいな海があります。

います。

就職して六年が経ち、潮の香りもだんだん忘れかけてきたのですが、年に一、二度帰省したとき、潮の香りでふるさとに帰ってきたのだと実感します。高知県には大きな遊園地などはありませんが、四万十川や太平洋などの自然が多く、ウツボや鰹のたたきなど、美味しい食べ物もたくさんあるので、一度訪れてみてください。

吉本 大海さん(百石町)



皆さんご存知の鰹のたたきです。

元気っ子アルバム

いし かわ みず き
石川瑞季ちゃん(6歳・左)
せり
世梨ちゃん(7か月)
なな み
七海ちゃん(6歳)



世梨です。ママと双子のお姉ちゃんのお見送りが日課です。お姉ちゃんたちに遊んでもらうのが大好き♡仲良し三姉妹です。お父さん：誠さん
お母さん：なお美さん(根崎町)



おち あい みづ き
落合美月ちゃん(1歳)

こんにちは、美月です。歌と踊りが大好きです。ミッキーマウスマーチに合わせて踊るのがマイブームだよ！
お父さん：康之さん
お母さん：真由美さん(相生町)

よね づ ひ な
米津妃菜ちゃん(5歳)
うり
海理ちゃん(1歳)



妹のうりです。ポニョポニョでポニョみたいでかわいいでしょ。はやく一緒に手をつないで歩きたいな～
お父さん：晃さん
お母さん：真紀子さん(大東町)

「わたしの望遠郷」「元気っ子アルバム」コーナーでは、皆さんからの投稿をお待ちしています。

わたしの望遠郷▶皆さんの出身地を紹介 元気っ子アルバム▶皆さんのお子さんを紹介
申し込み方法など詳しくは、電話で秘書課広報広聴係へ。

スクールナビ



高棚小学校

市内の多くの学校で米作りをしています。高棚小学校でも、5年生が「食」を見直すために米作り体験をしています。この体験には、老人クラブや営農の人たちの協力が絶大です。営農さんは田おこし・代掻き・除草剤の散布などの準備を。老人クラブでは草刈りや水の管理、田植えや稲刈りなどの指導もしてくれます。

5月7日。学校前の実習田12アール(120㎡)に手植えをし



5月7日 田植え

した。「どろどろして気持ち悪かったけど、おもしろかった。夏休み中も育っていくのを見ていたよ」と児童たちの感想。

9月には収穫の時期を迎えました。まずは刈り取った稲を縛るためのすげ縄作り。目標は一人30本。わらに触れる機会の少ない児童にとって、大変な作業でした。そして、いよいよ9月8日、稲刈りの日。「かゆいけど、我慢してたらおもしろくなって忘れてた」「初めてなのに、初め



9月3日 すげ縄作り

てじゃない感じがした」次第にスピードを上げ、上達していく頼もしい児童たちの姿がみられました。

刈り取った稲は運動場の平行棒や鉄棒にはざかけをし、1週間ほど干します。9月16日には足踏み脱穀機を使って脱穀体験。その後は、ポン菓子を作ったり、家庭科の授業で炊飯をしたりします。年末には、収穫したお米ともち米を交換してもらい、全校分、14日(土)の餅つきをします。



9月8日。稲刈りの後インタビューに答えてくれた、左から石川さん、江川さん、石川くん、角谷くん。